**金枝 万作 （かなえだ・まんさく）**

**１、プロフィール**

川柳作家。昭和５年川柳入門。青森県川柳社創立同人。県川柳作品のアンソロジーを３冊にまとめ出版する等,県柳界の大きな支えであった。

＜生没＞

1908（明治41）年11月13日～1986（昭和61）年５月22日

＜代表作＞

句集『津軽に生きる』

＜青森との関わり＞

南津軽郡黒石町（現黒石市）に生まれる。北奥羽信用金庫（現あおもり信金）勤務。

**２、作家解説**

明治41年南津軽郡黒石町（現黒石市）に生まれる。本名久夫。青森商業高校卒。中央大学中退後東京にある東亜燃料株式会社に昭和15年頃まで勤務。戦後は北奥羽信用金庫（現あおもり信金）勤務、重役として活躍する。

昭和５年、後藤蝶五郎と句会で出会い川柳入門。９年上京後「みちのく東京後援会」設立。川柳研究句会に参加、中央柳人と交流を深めた。23年青森県川柳社創立に尽力、同創立メンバーとなる。28年「不浪人賞」「年度賞」「蝶五郎賞」の立案設定。同年「青森県川柳人連盟」を設立、幹事長を務める。33年37年と不浪人賞を中心とした県柳人のアンソロジー『川柳句集万華鏡』を自費出版。53年青森県川柳社30周年記念として、「ねぶた」誌上の30年間の秀句を一冊にまとめ『川柳句集ねぶた』を編集出版。54年、「ねぶた」の同人欄「山家集」推薦選者の句文集『ねぶた囃子』を編集出版。

県柳界の裏方に徹し大きな支えとして活躍。特に４冊のアンソロジーは県柳界にとって貴重な資料であり財産である。

昭和61年５月22日死去。享年77。

**３、資料紹介**

〇川柳句集『萬華鏡』

図書

1958（昭和33）年７月10日

140㎜×105㎜

青森県川柳社の不浪人賞を中心とした作品集。昭和29年から昭和31年までの３年間の不浪人賞の作品とその候補作品を掲載。編集兼発行人金枝万作。発行所青森県川柳人連盟。編者による自費出版。

〇川柳句集『あおもり萬華鏡』第二集

図書

1962（昭和37）年２月１日

180㎜×130㎜

「萬華鏡」第一集の後の第二集。昭和32年から昭和34年までの不浪人賞の作品とその候補作品を掲載。編集兼発行金枝万作。発行所青森県川柳人連盟。編者による自費出版。

〇川柳句集『ねぶた』

図書

1978（昭和53）年９月20日

195㎜×135㎜

青森県川柳社30周年記念に出版された「ねぶた」誌の30年（昭和23年から昭和52年）間の秀句をまとめた一冊。

作品の質も高く戦後の県川柳のひとつの集大成とも言える。編者金枝万作。発行所青森県川柳社。

〇川柳句集『ねぶた囃子』

図書

1979（昭和54）年10月20日

195㎜×135㎜

青森県川柳社の機関誌「ねぶた」の同人欄「山家集」の推薦選者の句文集。全国各地60名の著名柳人の作品と短文が掲載されている。全国的にも貴重なアンソロジーである。編者金枝万作。（発行者、発行所）記載なし。